



学習の基盤スキル『言語能力』

～学びと社会をつなぐ「思考」「つながり」の架け橋～


課題設定
 なぜ？不思議！？もやもや、○○がよくわからない、もっと調べたい・考えたい、感動した...等


インプット
 読む、聞く


スループット
 情報の整理、分析
※見方・考え方を働かせる！


アウトプット
 話す、書く

言語活動フロー

各ステップでは... 振り返り・評価

言葉の力「言語能力」は、考えを深めたり、友だちと関わったり分かり合ったり、社会で自分の思いを伝えたりするために大切な力です。読む・書く・話す・聞くといった力をうまく使うことができれば、自分の気持ちや考えをまとめたり、人と気持ちを通わせたり、学んだことを広げて社会とつながったりしやすくなります。以下のスキルをヒントに、国語をはじめ、いろいろな教科で意識してスキルを伸ばしていきましょう。

カテゴリー	スキル	どんなスキル？	チェックリスト
知識・技能	語彙・文法	言葉の意味、使い方、文法構造など、言語を理解し運用するための基本的知識	☐ 新しく出会った言葉を、意味をたしかめながら正しく使っている ☐ 文法のきまりや言葉の使い方に注意して話したり書いたりしている
	読解力	様々な文章や図表等の資料・情報から正確に情報を読み取り、理解する技能	☐ 文章や資料の内容を正しく読み取り、要点をつかんでいる ☐ 指示語や接続語、図表の意味を理解して読んでいる
	書く技能	適切な語彙、構文、段落構成等を用いて文章を書く技能	☐ 文のつながりや段落構成を考えてわかりやすく書いている ☐ 誤字脱字を見直し、丁寧に適切な表記ができています
	話す・聞く技能	発音、聞き取り、問い返し、簡潔な説明など、基礎的な会話運用能力	☐ 相手に伝わるように、声の大きさや言葉を工夫して話している ☐ 相手の話をよく聞き、必要に応じて質問やうなずきをしている
思考力・判断力・表現力	論理的構成力	主張・根拠・理由・具体例などを筋道立てて整理し、説得力ある説明や主張を組み立てる力	☐ 主張と理由、具体例を明確に区別して、順序よく筋道立てて説明している ☐ 構成や段落のつながりを考えて文章や話を組み立てている
	整理・分析力	複数の情報を読み比べたり、分類・比較・要約したりして整理する力	☐ 複数の情報を比べ、共通点や相違点を見つけて、分類や整理をしている ☐ 調べたことを自分の言葉で言いかえたり、関係を捉えて図や表で表している
	批判的思考力	情報や意見を吟味するなど、多角的な視点で根拠や妥当性を思考・判断する力	☐ 他の人の意見を聞いて、自分と違う点を考えたり反論したりしている ☐ 情報や考えの信ぴょう性や立場の違いに気づき、自分の言葉で説明できる
	状況に応じた表現力	相手や目的に合った構成や言葉づかいで、考えをわかりやすく伝える力	☐ 言葉づかいや順序を工夫し、相手に伝わるように話したり書いたりしている ☐ 相手の反応や状況に合わせて、言いかえたり補足したりしている
学びに向かう力	振り返り・評価	自分の学び方・感情・つまずき等を言葉で振り返り、よりよい学びにつなげる力	☐ 自分の考え方や学び方を言葉でふり返り、工夫につなげている ☐ どのように考えたか、自分の思考のプロセスを言葉で説明している
	対話力	他者の意見に耳を傾け違いを尊重しながら、対話を通じてお互いの理解を深めていく力	☐ 相手の言葉をよく聞き、言い換えたり問い返したりしながら理解しようとしてる ☐ 「それってこういうこと？」等、相手の意図を確かめる言葉を使っている
	他者と協働する力	仲間との関係や協力を深めるために、自分の意見・感情を伝えながら場を調整する力	☐ 相手の立場や気持ちに配慮しながら、自分の意見を伝えている ☐ 話し合いの中で、みんなが気持ちよく協力できるような声かけや提案をしている
	学びを伝え広げる発信力	自分の学びや気づきを他者や社会に向けて、わかりやすく伝えようとする力	☐ 自分の考えや学びを、相手に伝わるように整理して話したり書いたりしている ☐ 自分の経験や気づきを、他の人にも伝わるように共有・発信している

※ここで示しているスキルはあくまで例であると同時に、漏れなく重なりなく列挙するものではなく、お互いに関わり合うものです。

【参考】言語能力についての整理メモ（文部科学省）、PISA調査における読解力の定義、特徴等（文部科学省）